

令和8年度加賀市健康福祉審議会
高齢者分科会 第2回会議 議事録

日時:令和8年9月3日(木)午後1時30分～3時00分

場所:加賀市役所別館3階302会議室

出席委員:◎橘、○作見、中田、鈴木、北出、上出、蔭西、宮下、西畑、瀬戸、山崎、澤田、
打田、北村谷、中屋

(敬称略・◎会長、○副会長)

・次第

開 会

あいさつ

議 題

- 1 介護保険制度改正等の動向について
- 2 将来人口及び要介護認定者数の推計等について
- 3 高齢者お達者プランの策定状況について
 - (1) 在宅介護実態調査について
 - (2) 在宅生活改善調査について
 - (3) 居所変更実態調査について
 - (4) 介護サービス供給量調査について
 - (5) 小規模多機能型居宅介護事業所アンケートについて
 - (6) 地域ケア会議について
- 4 認知症施策推進計画について
- 5 地域包括支援センターの持続可能な相談体制のあり方について
- 6 地域密着型サービス事業者の指定(更新)について

その他

・加賀看護学校について

閉 会

・議事要旨

議題1 介護保険制度改正等の動向について資料1

山崎委員:今の説明は、社会福祉法の改正についての内容だと思うが、量が多く理解できない。インターネットで調べた結果、今回の改正について、簡単に5つに分けてあり、わかりやすい。

- ①ケアマネジャーの更新制がなくなる
- ②身寄りのない高齢者を公的に支える仕組みができる
(入院から死後の手続きまで家族がいなくても安心)
- ③小さな自治体で丸ごと支援が始まる
(子供、高齢者、障がい者を分けずに支える体制)
- ④山間部過疎地における介護サービスを守るための特定地域サービスが始まる
- ⑤有料老人ホームは質を保证する時代へ、都道府県等への登録制度が始まる

このようにまとまらないのか。

事務局：今回の説明については、国の変更項目をそのままを引用した関係で、情報量が多くなっております。視覚的な関係で、山崎委員のご指摘のとおり、今後はコンパクトに資料作りをおこないます。

議題2 将来人口及び要介護認定者数の推計等について資料 2

北村谷委員：3 ページにおいて、加賀市の高齢化率が高く、認知症の認定率が低いということは、加賀市には認知症にならないで、元気な人が多いということか。

事務局：加賀市では様々な介護予防の取り組みを行っており、その効果が出てきているのではないかと考えています。

議題3 高齢者お達者プランの策定状況について

(1) 在宅介護実態調査について資料 3-1

中屋委員：検討結果の内容の中に、軽中度者に向けた介護保険サービス外の生活支援の充実ということで、改善していくということだが、ゴミ出し等が現実的に一番みんな困っているのではないかと思うが、調査はしているのか。

事務局：調査結果を見てみましたところ、中屋委員のおっしゃるとおり、介護者が必要と感じる介護の内容としまして、ゴミ出しを含めた家事について、一定の方が必要と回答いただいております。暮らし支援は介護保険サービスの、ヘルパーさんの業務の一部であります。ヘルパーさんのマンパワーにも限りがあるので、対応が必要であると考えております。

(2) 在宅生活改善調査について資料 3-2

質疑応答 特になし

(3) 居所変更実態調査について資料 3-3

質疑応答 特になし

(4) 介護サービス供給量調査について資料 3-4

質疑応答 特になし

(5) 小規模多機能型居宅介護事業所アンケートについて資料 3-5

質疑応答 特になし

(6) 地域ケア会議について資料 3-6

蔭西委員:3 番のプランの策定状況について、調査し、現在検討課題が出たと思います。これからプラン作成をするにあたって、この課題の改善・解決に向けた施策なり、事業なりが出てくるのかなと思うが、その際、市役所で何かしら案を考えていくというよりは、やはり現場の私たちの声も聞いていただく中で、進めていただきたい。例年見ていると、アンケートはされて、課題を出していただくのですが、課題解決に向けた提案検討については、市役所から出てくる感じが多いので、そこも含めて、加賀市介護サービス事業者協議会に通し、一緒に検討できる場を持っていただきたい。

議題4 認知症施策推進計画について資料 4

瀬戸委員:認知症施策について、アンケートや意見交換など、さまざまな取組を行っていることは認識している。一方で、普段から認知症の方や施策に関わっている方には取組の内容が伝わっていると思うが、普段あまり関わりのない一般市民の方々には、どのような取組が行われているのか、また、認知症についてどのように考え、どのように感じているのか、まだ十分に見えてこないように感じる。そのため、認知症に関するさまざまな取組を行っていること自体を、より広く市民に周知していくことが重要だと思う。普段、地域で生活している中では、職員や関係機関の方々が「どうしようか」「こうしていこう」と話し合っている一方で、一般市民の方々にとっては、自分自身のこととして考える機会が少ないのではないかと思う。認知症を誰かの問題として捉えるのではなく、市民一人ひとりが「自分のこと」として考えられるよう、一般市民の方々にも参加していただき、意見を出したり、考えたりすることのできる機会を、今後さらに増やしていただきたい。

事務局 :各認知症施策において、事業等を通じて市民の皆様からご意見をいただくとともに、必要な情報をご紹介します、関係する取組や支援につなげていくことも意識しながら、体制を整えてまいります。

議題5 地域包括支援センターの持続可能な相談体制のあり方について資料 5

質疑応答 特になし

議題6 地域密着型サービス事業者の指定(更新)について 資料 6

質疑応答 特になし

その他

・加賀看護学校について 資料7

質疑応答 特になし